

起因物、事故の型：地山、岩石 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	9～10	水位観測場所No.2の地下水位データ収集が完了し、次の観測地点へ移動を開始した直後にのり面で足が滑り、滑り落ちた後、前転するように約10m程度のり面を滑り落ち負傷した。なお、本人は、転倒時の事はよく覚えていないとの事である。	60	170209	1～9
1	11～12	作業法面中腹（崩壊法面）にあつては、道路からの高さ120m、法肩40m下りた箇所、メインロープ、ライフラインの2本を使用して、作業に使用する金網を水平方向に運搬中に、メインロープ、ライフラインの2本の親綱の上方が、法面中腹の凸部に引っかかり、被災者本人が、それに気づかぬまま横移動を続けた結果、何らかの原因で引っかかりが外れ、地山に衝突し、肋骨、腰椎を骨折したと思われる。	47	30199	—
1	14～15	請負先敷地内の法面において、植木の剪定作業中に蔓の除去と袋詰め作業を行っていたところ、からんだ蔓を引っぱった反動で滑り、2mほど斜面を回転しながら転げ落ち、フェンスに激突した。その際、尻に切り株が刺さり擦り傷を負い、全身を打撲した。	65	150101	100～299
1	15～16	林道工事において、伐採した木を搬出作業中に足を滑らせて転倒し、約20m程斜面を転がり落ちた。	77	30106	—
1	10～11	作業現場の段々の植え込みの除草作業中、横に移動するために握った低木の枝が折れ、約4.5m下の地面（土の上）に落下し、腰部と殿部を打った。しばらくは痛みはあるものの日常生活はできており、出勤もしていたが、痛みは改善しなかった。	61	150109	1～9
	18～	市道で徒歩での営業活動中に、近くを通った自動車に気を取られて足元			10～

1	19	が疎かになり、道路を踏み外して斜面を滑り、約2m下の民家の裏庭に転落し、恥骨を骨折した。	46	170209	29
1	8~9	伐採中、3mの高さの所から落下した。	65	30202	1~9
2	11~12	被災者は、低圧電灯供給工事設計のため現場に到着し、測量調査を開始した。支持物（小柱）が必要のため建柱位置となる土手法上の状況を確認しようとしたところ、道路上から確認できなかったため、法面に少し上がり確認しようとした。一歩目として左足から側溝を跨ぎ、次に右足を跨ごうとした際、突然左足が滑りつま先から側溝に落下し、左足首を捻り転倒負傷した。その後、被災者は歩行困難であったため腹ばいで車輛まで戻り、自ら救急車の出動を要請し、医療機関へ搬送され治療を受けた。	27	30301	1~9
2	15~16	海上コンテナシャーシに乗っているコンテナ内部を確認した後、コンテナから下りる際に躓き、1m下に落下した。右脚から落ちたため足首を骨折した。	31	140309	—
2	16~17	山林において搬出間伐施工地の完成写真を3名で撮影して回っていた。本日最後の現場へ向かい作業道（幅員2.5m）歩きプロットの上部に着き黒板を持って作業道から下に降り撮影箇所に向かっていた。その時足が滑って後ろ向きに倒れ15~20m転がり落ち左肩甲骨を負傷した。	50	60209	30~49
2	11~12	民家の裏山付近で電柱間に張ってある低圧電線を撤去中、滑落防止対策を施さずに斜面上部で作業中足を滑らせ約3.5m付近から民家の裏庭に滑落し受傷した。	54	30301	50~99
2	10~11	山林で伐倒後に枯枝が落下して背中に当たり、斜面5m下に滑落し胸を強打した。	66	60201	10~29
2	16~17	土壁の積み上げ作業中ワイヤーウォール天端部をカキ板で敷均し作業をしていたがバックホウ運転者が作業員の方向へ左旋回した時作業員の姿がないことに気付き、バックホウから降り下を見ると小段へ転落していた。転落事故が躓き転倒による転落か足の踏み外しによる転落、又はバックホウ作業による転落なのか現時点では断定できない。	32	30109	—

2	13~14	6番ホールグリーン周りで、バンカーから上って来た客、フェアウェイから上って来た客と、キャディが交錯しそうになり、とっさに避けたところ高さ1.5mのバンカーに滑り落ち負傷した。	58	140301	50~99
3	15~16	会社の置場にて資材を整理していたところ、資材置場横にある水路（幅60cm、深さ1.7m程）に誤って足を滑らせて落ちてしまった。一緒に置場に居た者に手を借りながら、自力で歩いてその場から脱け出た。その際に痛みが生じ、骨折している事が分かった。	62	170209	1~9
4	14~15	川岸にてツアー写真を撮影していたとき、セクションの撮影を終え次へ移動をした際、けもの道もない不整地な崖沿いを手足を使ってよじ登った時にバランスを崩し、後方へ頭部から2回転しながら転落した。その際、岩場に頭部を2回打ち、右耳の上と後頭部をそれぞれ5~6cm切った。また、右肩からカメラバックを斜めがけしていた為、カメラバックが左腹部に当たり、肋骨を3~4本骨折した。	37	140309	30~49
4	10~11	敷地内で利用者とレクリエーションで筍掘りをしている時、斜面2.5m程の所にある筍をスコップで掘ろうとした際にバランスを崩して転落した。	36	130201	1~9
4	10~11	アプローチ場斜面奥側でネットを張る作業をしている時、斜面で足を滑らせ中腹より少し下より落ち、右ひざ頭に血液がたまり、半月板圧迫をした。	35	140301	10~29
5	9~10	勾配のある地山法面で、伐採した樹木の枝打ち作業に移動する時、一部分が急勾配（約40度）になっている所で法面下方に足を滑らして転倒した。その際に、切株の突起物に接触して左肩甲骨を骨折し、そのまま滑落して強く手を着いた際に左手首も骨折した。	65	30106	10~29
5	15~16	道路に傾きかけた土手の上の枯木の伐採作業中、チェーンソーで切り倒して、体勢を変えようと足を動かした際に、前日の雨で地面が湿って緩んでいて足を滑らし、土手の斜面を転げ落ちてしまい負傷した。	60	60209	—
		2つのバッグを肩から下げて、結んであったロープを持ちながら法面を降			

5	13～ 14	りていたところ、手が滑り足下約1mの位置から滑り落ち、右足が地面に着いて右足踵が強く当たり、痛みが走った。右アキレス腱断裂との診断後、養生のため装具を着けていたが、これにより下腿が擦過し、下腿全体の腫れがひどくなった。	59	170209	1～9
5	14～ 15	木を切り終り、次の場所である斜面の下へ移動しようとした際、誤って足を滑らせて仰向けで転倒し、左後の肋骨辺りが立木の根元にぶつかった。当初は打撲と思い安静にしていたが、痛みが治まらず、後日に肋骨骨折だと判明した。	57	60209	1～9
5	10～ 11	落石防止網工の施工中に作業員が法面（高さ2.0m）から転落した。金網架設時、高さ5m付近の障害物に金網が掛かってしまい、それを作業員が手で外したあと降下中に高さ2m付近で転落した。法面降下中に金網用フックが付いていると思い親綱を外したところ、フックが外れており転落した。	53	30199	1～9
5	8～9	ヒノキ44年生の山林において、チェーンソーにて間伐作業中、胸高直径14cm・樹高13mのヒノキを伐倒し、林内整理のため倒れた伐倒木を玉切りしようと切断部分に移動していたところ、刈払っていたシダの下が80度位の急傾斜地になっている所に誤って足を置いた為に踏み外し、4m下へ頭部より転落した。	37	60209	10～ 29
5	13～ 14	ケーブルの新設を行う為、ケーブルジャッキを設置しジャッキアップしている際に手が滑り、そのまま後方の川へ転落した。	66	30301	100 ～ 299
5	10～ 11	山林現場において架設作業中、滑車を持って移動中に斜面で約2m程下に滑り、激しく尻もちをつき腰に痛みが出て、動けなくなった。	35	60201	1～9
6	14～ 15	送電線近接の樹木点検作業中、足を滑らせ滑落した作業員と衝突し、約30m滑落し、顔面と左足踝を負傷した。	43	30301	10～ 29
6	15～ 16	山林の傾斜約30度の所でスギ立木の伐採作業中、足を滑らせ、臀部から落ちた所に切り株があり、臀部を打ちつけた。	51	60201	30～ 49

6	11~ 12	草刈工事で草刈清掃中に、足を滑らせて下に転落した。その際に、右足首内側のくるぶし下を骨折したものである。	47	30199	10~ 29
6	15~ 16	上部線巡回検査終了後、パノラマ周遊ルートから登山道を歩いて2名で下山していた。被災者が先頭で、10m程後方を他者が続いていたところ、登山道を間違っ降りてしまい、被災者が足を滑らせ滑落した。（後方を歩いていた他者も、被災者の滑落を把握しないまま下山を続け、同様に足を滑らせ滑落した。）滑落後、両名は合流できたが、急峻な地形のため身動きができず、被災者の携帯電話で救助要請をした。その後、防災ヘリにて救助され、病院へ搬送された。	49	40101	100 ~ 299
6	15~ 16	パノラマ周遊ルートから登山道を歩いて2名で下山していた。他者が先頭で、10m程後方に被災者が続いていたところ、登山道を間違っ降りてしまい、最初に他者が足を滑らせ滑落し、被災者は他者の滑落を把握しないまま下山を続け、同様に足を滑らせ滑落した。滑落後、両名は合流できたが、急峻な地形のため身動きができず、携帯電話で救助要請をした。その後、防災ヘリにて救助され、病院へ搬送された。	37	40101	100 ~ 299
6	9~ 10	砂防堰堤を整備するための工事中において、支障木伐採作業後、次の作業箇所へ移動する際、急斜面で、足元が木枝や落葉等により不安定な状況だったため、足を滑らせ転倒し、斜面を3m~4m程転がり落ちた。	32	30106	1~9
6	9~ 10	山道を運搬車で工具・資材を運搬中、運搬車が転倒したはずみで、作業員1名に当たり被災した。	29	30301	10~ 29
7	13~14	除草作業中に、濡れていた草に足を取られ、作業機械ごと5メートル程滑り落ちた	60	30106	30~ 49
7	9~10	営業所内にて足場資材の整理作業中、結束された支柱（3600）を指定箇所にフォークリフトで積み上げていた。支柱整理用の台木が斜めになっていたため、台木を直そうと支柱最上段によじ登り直し終わって降りる際、誤って転落、約3m下の鉄板上に背中から転落、背骨を骨折した。	64	60201	1~9
		県道側の傾斜地にて草刈を肩掛け機を使い作業中足を滑らし、下の県道			

7	15~16	に転落してしまい、その際肩掛け機の刃が右足首に当たり、2ヶ所裂傷してしまい傷口を縫合した。	37	30309	1~9
7	16~17	民家の庭で庭木の剪定作業中雨でぬれていた庭石（高さ約4.5m）で足を滑らせ、転落し、右足の骨を折った。	36	60101	1~9
7	11~12	傾斜のある柿畑で摘果作業をして土手（2m以上）ある場所より足を踏みはずし転んだ。	77	60101	1~9
7	13~14	被災者は、法面除草作業中、法面下端部のコンクリートブロック擁壁（H=3.0m）から草が垂れ下っていたため、このまま刈り払うと下方に落下してしまうと思い、法面上方側に手で引き上げていたところ、安全帯を装着していなかったこと、法面端部に安全柵を設けていなかったこと等により、バランスを崩し、下方の宅盤へ落下し、右足踵部分を強打し、負傷した。	64	60209	10~29
7	14~15	工事の昼間車線規制実施中に交通監視員がトイレを定められたトイレカーを使用せずにガードレールを乗り越えて法面で用を済ませて、戻る途中につまずき、左手をついた際に左肩を脱臼骨折したもの。	50	170201	30~49
7	13~14	右岸上流側の工事現場で、右岸側斜面の途中にある工事箇所へ向かう際、設置されている仮設安全通路（階段等）を利用せず、斜面を、親綱をつたい降りていたところ、足を滑らせ14m下の谷底へ転落した。	51	30106	30~49
7	9~10	リバーサイドパークにて法面での草刈作業中、手押しロータリーモア（機械）を使用中に足元が滑り、バランスを崩して機械と共に2mほど下に転落し、胸や頭を打ち、足の小指を骨折した。	55	60101	10~29
7	13~14	山林で下刈り作業中に刈払機を持ったまま足を滑らせ足を打った。（傾斜地）	48	60209	1~9
7	16~17	知的障害者支援施設（定員60名）の敷地内の土手にて、利用者の対応中に手で払いのけられた際に後ろ向きに転倒。臀部、腰部、背部、後頭部を打った。	52	130201	30~49
	13~	伐採の現場で、被災者は伐採作業をしていたが、チェーンソーの音がし			30~

7	14	ないので近くの作業員が確認したところ、伐採地点の下方30m位に滑落して倒れているのを発見した。	70	60201	49
7	11～ 12	現場において作業時の場所移動中、作業道の土手上にある木の切株根元にロープを掛けて、高さ約3m辺りよりロープを伝って道に降りるときに足が滑り、ロープから手が離れて地面に落下し、背中を強打した。	54	60201	10～ 29
7	13～ 14	調査作業に従事している被災者が、足場材等の資材を運搬して移動中、斜面でバランスを崩し、前のめりの姿勢で滑り落ちた。その際、保身のため右手で支えようとしたが、木の切り株の角で負傷した。傷が深かったため救急搬送を依頼し、現地担当責任者もこれに同行した。診察の結果、右手・右前腕の挫傷で縫合手術と数日の入院治療となった。	74	120109	100 ～ 299
7	7～8	下山時8合目を過ぎた岩場を下っていたとき、岩場に靴を挟まれて頭から転倒した。山岳ガイドに応急処置を受けたが、業務を継続することができなかつたため、お客様はもう1名の添乗員に任せて（当該ツアーは添乗員2名同行）、5合目まで自力で下山し、そこで待機していた救急車で病院に搬送された。右上腕骨、及び、頭（おでこ）に傷と腫れの怪我を負った。	33	170101	1000 ～ 9999
7	16～ 17	山畑で作業をしていたとき、足を滑らせて下の段に落ちて腰を打った。	60	60101	1～9
7	11～ 12	学校の夏季休業中に、校内の清掃作業を行っていた。校門に入っすぐ左側の花壇の除草作業を行い、その場の除草を終え、花壇から約1m下の斜面を降りようとしたときに足を滑らせ、尻もちをついて斜面を滑り落ち、花壇下のアスファルトに着地した際、左手をつき骨折した。なお、本校のスクールバス介助職員は、バスに関する業務が無いときには、掃除や遊具の補修等、構内の環境整備業務に従事することになっているが、その際に発生した災害である。	49	120109	100 ～ 299
	14～	同僚2人と共に、山林の標高約800m地点にある飲料水取水タンクの清掃作業後、山林内に敷設の水道パイプに沿って点検作業をしながら斜面を下山中に、標高約400m地点付近で谷へ滑落した。付近は岩場と急斜面			10～

7	15	が多く、パイプ敷設ルートは山道や作業道ではないため、安全な歩行には適さない所が多い。本人は数度このルートの踏破経験があるが、注意を要する中で起きた滑落事故であり、骨折・打撲等の重傷を負った。	28	10109	29
7	13~ 14	現場にて、寒冷紗のたるみを直そうとして鋼管を支えているとき、突風で寒冷紗が煽られ、鋼管が浮き上がり、バランスを崩した。斜面（勾配1.2割程度）から6m程回転しながら転落した。	47	30106	30~ 49
7	16~ 17	法面に立って写真撮影中に、足を滑らせ転倒し、3m下の石の上に転がり落ち、体の左側面を強打した。	61	170209	30~ 49
7	11~ 12	法面でロープを設置する作業中に、足を滑らせて（想定）、6~7m下の道路に滑落した。当時、ロリップをロープに接続していなかった。	39	30106	1~9
9	18~ 19	工事現場に配達中、給油場所が盛り土の上であり、盛り土の上へ上がって給油後下りる時に、暗くなっていた為足をつく所が見えなくて、すべり落ちた時に痛めた。	28	80204	1~9
9	15~ 16	法面で、集草作業をしているときに、足を滑らせて滑落し地面に身体をこすられ、切株に脇腹を打ちつけ、上記傷病となり12日間休業した。	41	30309	1~9
9	20~ 21	ゴミ焼却場にて夕食時のゴミを焼却炉に投入して、少しした後燃焼確認の為、焼却炉の扉を開け火の通りをよくする為掻き混ぜた時、突然火が吹き出し、避けるため後退し2.5m下に落下した。	51	140101	10~ 29
9	12~ 13	個人所有の敷地内で草刈作業中に雑草が背丈以上だったにも関わらず足元を注意深く確認せずに作業を行ったため足元の水路（深さ約1.3m）に気付かず滑落し、左胸部を強打した。	73	60101	1~9
9	3~4	朝刊の配達に向かう際、雨用のビニール袋を気にしていたことと、雨ふりで足元が悪かったことで、足をすべらせ、押していた自転車ごと背丈程の溝に落ちた、頭と肩を強く打った。	64	80205	30~ 49
9	15~ 16	事業場農場の川沿いの道を除草作業、防火線切りをしていたところ、台風の影響で土砂が道まで流出していたため、道路と土手がわからなくなっており、誤って足を踏み外し土手（3m下）に転落、体（右半身、	74	60101	10~ 29

		肩、腕、腰)を打撲したものである。			
10	16~ 17	建設現場にて、場内整備の為コンクリートガラの山の中にあるゴミ取り作業中、濡れていたガラに足を滑らせてしまい転倒して、ガラ山から(1.5m)落下し左足を負傷してしまった。	53	30209	10~ 29
10	11~ 12	路上で道路脇の斜面に登ってクサギ取りをしていた。(当事業場で利用者とともに草木染めの作業をしており、クサギはその材料に使っている。)斜面から降りる時に足が滑り道路に左手をついた際左手に激痛が走りうずくまった。当事業場に戻っても痛みが引かなかった。	31	130201	30~ 49
10	13~ 14	台風被害による風倒木除去の作業中、重なりあった木の枝落としを行っていたところ、重みが取れた倒木が動き、足元の木をゆらしたため、体のバランスを崩して転倒し、転げ落ちて負傷した。	63	60201	1~9
10	14~ 15	コース管理作業中、2人で猪よけの柵を切り替えるため、坂になっている場所で既存の猪よけネットを取り除いていた際に地中に埋まってしまっている部分を引っ張り出した時、振り向きざまに身体のバランスを崩し2メートルぐらい下に転げ落ち、U字溝上部に取り付けてあった金具で左太もも付け根の少し上部を切り出血した。	63	140301	50~ 99
10	10~ 11	間伐作業中、不良木(胸高直径10cm)を切り倒したが、不良木が木と木に挟まり地面より1m位浮いてしまったので木の途中から切り落としたら、切った片方の木に胸を押され2m位下に転落した。足から落ちたが石があり右足踵を骨折(ヒビが入った)した。	49	60201	10~ 29
10	11~ 12	事務所敷地内で鋼材の搬出作業時敷地内に一部斜面があり、そこへ誤って足を踏み外し、約2.0m下に転落した。	18	30209	1~9
10	10~ 11	当ゴルフ場、1番ホールのティグラウンドにてキャディがお客様がティショットを放った際に飛んだティを拾おうと斜面を徒歩にて下った時つまずき、斜面下まで転落した。動けない状態であったため救急車の要請をした。	63	140301	50~ 99
11	10~	みかん収穫中、防風林の外側の果実を採ろうとしてバランスを崩して、	79	60101	1~9

	11	土手を転がり約2m下の道路脇の側溝に全身横たわるようにはまった。			
11	11~ 12	個人宅の外壁塗装用足場工事の西面材料運搬時にバランスを崩し、約4m下の崖に転落し左足踵を骨折した。	46	30209	1~9
11	10~ 11	現場にて地籍調査業務を行っていた際、道幅3mの道路から、平行に走る約5m下にある道幅3mの道路へ移動しようとした時、土の法面（傾斜角度約45度）を降りようとして足を滑らせ、道路まで滑落し負傷した。	34	170209	1~9
11	5~6	被災地に前日の夜から荷卸の為トレーラーで滞在し、早朝、荷卸作業の為車両を移動し荷卸をする。しばらくして作業が完了し、真っ暗な中トイレに行き、車両に戻る際大きな穴があいている事に気付かず足がはまり落下し負傷した。	49	40301	10~ 29
11	11~ 12	林道改築工事の法面にシートを覆う作業等をしていたが、昼休憩の為林道横に置いてある休憩所まで降りていた時に、足が滑り1.5m位の高さより滑落し負傷した。	55	30106	10~ 29
11	15~ 16	被災者は、3人でチェーンソーを用いて間伐作業を行っていた。作業が終了し、下山途中の急傾斜で足を滑らせ転倒した際に、木の株で右側腹部を強打した。負傷した後、自分で下山し帰宅したが痛みが取れず翌日病院へ行き受診した結果、打撲と診断された。	32	60201	30~ 49
11	9~ 10	坑門背面埋戻し工事の施工管理のため、盛土材を巻き出した段差（H=30cm一層）箇所を移動する際、段差に足を滑らせて転倒し、不自然に着地した右足首に全体重がかかり負傷する。＜原因＞・盛土材を巻き出した段差（H=300）急勾配・被災者の意識が慌てていて、考え事をしていて、不注意。	47	30106	1~9
12	11~12	工場③棟耐震補強工事の現場において、基礎工事の穴の埋め戻し作業中、穴とバリケードの間のスペースを歩いていたところ、足元の土砂が滑り、そのまま2.5mの深さの穴の中へ転落した。転落した時、玉石に左膝をぶつけてしまった。	74	30201	10~ 29
		営業業務のため坂道の端を歩行中に、端にある岩が外れ、2m位の高さの			100

12	12~13		41	30202	~ 299
12	15~16	工場の出入口に飾る門松の竹を山に取りに行き、帰るときに山を下る途中、転んで強打した。痛みが強くて動けなかった。	55	80109	10~ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)